

A-5 蔗糖負荷家兎の血清脂質に及ぼす飽和及び不飽和脂肪酸の影響(才2報)
京来女子大 金谷孝子 ○岩泉光子

目的 動脈硬化と食餌因子との関連について検討する目的が前年度蔗糖の過剰負荷の際、組み合わせる脂質の種類の違いによる影響を観察した。今回は長期間負荷に際しての変化を検討した。

方法 体重2〜3kgの雄兎を用いI群はヤシ油20%、II群はサフラワー油20%を標準飼料に添加し、対照群は標準飼料のみとした。それと共に全群共20%蔗糖水溶液250ccを経口的に投与し与え28週飼育し、この間2週に1度の割合に採血しその血清中性脂肪、コレステロールを測定した。又実験食負荷前及び負荷後28週の耐糖能を観察する目的がカルコースを急速静注し負荷前、負荷後10分、30分、60分、120分に採血し、その糖、遊離脂肪酸、中性脂肪、コレステロールの測定を行った。又この間飼料摂取量、体重測定を行った。病理学的変化も観察した。

結果 体重増加は上下の変動あるもののサフラワー油+蔗糖群、ヤシ油+蔗糖群蔗糖群の順であり、蔗糖群のみ一度上昇したもののその後下降気味であったが他群は変化はみられなかった。血清コレステロール値はヤシ油+蔗糖群は漸次増加し三群間で最も高い値を示した。次は蔗糖群、サフラワー油+蔗糖群は4週近上昇がみられたがその後下降し28週には負荷前値と変わりない値を示した。血清中性脂肪値はサフラワー油+蔗糖群、ヤシ油+蔗糖群、蔗糖群の順であった。耐糖能については28週後には実験食負荷前に比較して群共に変化がみられた。